

受験生 6 (※大学院に進み**教員**を目指した過去あり) 結果：**合格**

8月13日 9:15～9:45

私：**I**

面接官：**A** (男性)

B (女性)

C (男性) とする。

A：今日は、何時頃に起床されましたか？

I：はい、5時45分に起床し、
余裕を持って会場に来ました。

A：いつもは何時頃に起きてるの？

I：いつもは、仕事がありますので、
だいたい6時45分に起きています。

A：では、早起きも、そこまで苦ではないんですね。

I：はい。

A：分かりました。

それでは**3分間プレゼン**をお願いします。

以下、大まかな概要を書きます。

↓↓↓

私の強みは**積極性を活かしたコミュニケーション能力**です。

この能力は、

現職・学生時代の部活動やボランティアを通じて培い、

また発揮してきました。

相手からも「話しやすい」などの言葉を頂くことが多いです。

私はこの強みと学生時代に培った知識を活かし、

スポーツ振興や**子育て支援**に挑戦したいと考えています。

現在、特別区はこれらの取り組みに力を入れており、
時には『区同士で協力』し、
時には『競い合う』といった姿勢にも魅力を感じているので、
私は特別区を志望しました。

A：有難うございます。

では、質問していきたいと思います。

強みが「コミュニケーション能力」とのことですが、
コミュニケーションをとる上で
「心がけ」ていることは何ですか？

I：二つあります。

一つは、

できる限りこちらから積極的に声をかけることで、

もう一つは、

相手が何を求めているかに耳を傾けることです。

A：『スポーツ大会でも声をかけていた』と言っていましたが、
どのように声をかけましたか？

I：大会の参加者の方々に、

『記録』を聞くなど、

「相手が答え易そうな質問」を選び、声をかけました。

A：なるほど。

では、質問を変えます。

『公務員を目指すようになったターニングポイント』はありますか？

I：はい、〇〇時に参加したマラソン大会で、

元公務員の方とお話しする機会があり、

それを機に、

「教員」ではなく、

『もっと幅広い分野で人の役に立ちたい』と考えるようになりました。

A：さきほど「スポーツ振興」や「子育て支援」をやりたいって言ったけど、
希望の部署に入れなかったらどうする？

当テキストの無断転売・無断転載・無断使用を固く禁じます。

I : もちろん希望の部署に入れたい可能性も承知しています。
しかし、どの部署にも
やりがいや魅力は必ずあると考えていますので、
やりがいをみつけ、
頑張っておきたいと考えています。

A : じゃあ、スポーツ振興と子育て支援『以外』で、
何か、興味のある仕事はある？

I : はい、**福祉関係の仕事**に興味があります。

A : そのきっかけは？

I : はい、**大学院で学んだ講義**がきっかけです。
スポーツ振興とも少し重複してしまいましたが、
『高齢者の平均寿命と健康寿命の差』に驚き、
その差を埋めるため、
健康スポーツの促進など、
高齢者の健康増進対策を行っていきたくて思いました。

A : 『特別区の福祉政策』で興味のあるものはある？

I : はい、練馬区の**街角ケアカフェ**や、
すみません、どこの区か、名称を忘れてしまったのですが、
高齢者がボランティアをすることで**ポイント**がたまり、
年末に**ギフト券**や**介護サービス**等と交換できる取り組みに
興味を持ちました。

A : 分かりました。ありがとうございます。

B : ○○さんは、今話していても、
非常に明るく、コミュニケーション能力が高いと感じるのですが、
普段から明るい方なの？

I : はい、普段から明るい方だと思います。

B：では逆に、
コミュニケーションをとる上で失敗したエピソードってある？

I：はい、部活動で比較的寡黙なタイプの部員と話す際に、
長々と話してしまい、
相手から「もう分かっているので大丈夫です」
と話を切られてしまったことが、
失敗かつ後悔している経験です。

B：それはどうやって解決したの？

I：それからは、
できる限り伝えるべきことを『端的に』伝え、
また、一方的に話すのではなく、
言葉のキャッチボールを意識することを心がけました。
これにより、
その相手の方とも上手くコミュニケーションがとれるようになりました。

B：分かりました。
では、今までで最も困難だったことを教えてください。

I：最も困難だったことは、
学生時代に
『部活動の練習場所がなくなってしまったこと』です。

私は陸上競技の投擲種目（やり投げ）をメインで行っていましたが、
その投擲を行うグラウンドが改装され、
練習することができなくなってしまいました。

B：それは大変でしたね。
どのような工夫や取り組みで乗り越えましたか？

I：私は他大学と連携して国公立大学・投擲会というものを立ち上げ、
この問題の解決に取り組みました。

B：それはどういう会なの？

当テキストの無断転売・無断転載・無断使用を固く禁じます。